

『みやぎの3.11「現場編」・「回顧編」』が完成しました

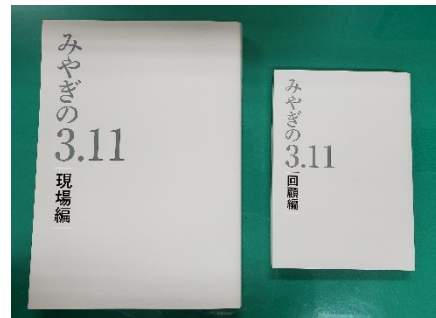
県は、平成31年度（令和元年度）から令和4年度にかけて実施した「東日本大震災復興検証事業」において、震災の復旧・復興事業に携わった職員及び関係者へのインタビュー調査を行うとともに、テーマ毎に取りまとめた冊子が完成しました。

1. 目的

東日本大震災からの復旧・復興過程で得られた本県職員等の経験や教訓などを次代に継承するとともに、今後発生が予想される様々な災害対応等において広く活用していただくことを目的としています。

2. 冊子名称と概要

- (1) みやぎの3.11「現場編」
 - ・4年間で約600人の職員・関係者に実施したインタビューを、10分野62テーマに分類・構成し、ドキュメンタリー形式にまとめたもの。
 - ・A4フルカラー、512ページ。
- (2) みやぎの3.11「回顧編」
 - ・震災及び復旧対応時の幹部職員12人に実施したインタビューを聞き書きによりまとめたもの。
 - ・A5モノクロ、208ページ。



3. 配布先

庁内各課室、県内自治体、各都道府県、国の関係省庁、図書館等の公共施設、県内学校、関係団体など約300箇所に配布予定です。

4. 県ウェブサイトへの掲載

ポータルサイト「東日本大震災 宮城の災害対応記録」を作成し、みやぎの3.11「現場編」についても掲載します。あわせて、インタビュー時に「後輩へのメッセージ」として収録した映像を、テーマ毎に取りまとめたもの（1テーマ当たり約3分）も掲載します。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/densho/index.html>



参考

紙面イメージ

○みやぎの3.11「現場編」(職員インタビュー:A4フルカラー、512ページ)

災害対策本部 臨時災害本部(22日)

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。





臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。

1 初動対応

災害対策本部の設置・運営

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。

項目	内容
1	臨時災害本部の設置
2	臨時災害本部の組織
3	臨時災害本部の役割
4	臨時災害本部の活動
5	臨時災害本部の成果
6	臨時災害本部の課題
7	臨時災害本部の展望
8	臨時災害本部のまとめ

○みやぎの3.11「回顧編」(幹部職員インタビュー:A5モノクロ、208ページ)

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。

被災後は予り始まるの事を見なくなった

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。

二日間の地盤で感じた不安

臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。臨時災害本部は、被災地の復興支援を目的として設置された。